

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31年 3月 4日

事業所名 向島あづみ園 （％で記入）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	50	50	・活動によって、使用する部屋を決めている。 ・利用人数によって部屋の振り分けをしている。	・立地条件条件上、難しいが、今後は机を片付けたり椅子を置く場所を工夫したりすることで部屋を広く使える工夫をする。
	② 職員の配置数は適切である	70	30	・利用定員に対して、十分な職員数になっている。	・保育士等が休みの時は、専門職によるフォローをしている。 ・言語指導の職員を2人増やす。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	70	30	・必要な場所には視覚支援を行う等、わかりやすいようにしている。	・利用現には視覚的なものを用いて、配慮をしているが、来園者に不足は、目に届きやすい場所での提示をするように取り組む。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	70	30	・朝夕に消毒清掃を実施している。 ・空間に合った活動を提供するよう工夫している。	・行事等でプレイルームが使用できないことがあるので、クラス担任での事前の話し合いが必要。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	80	20	・職員会議で議題に挙げ、話し合いをしている。	・当日業務の振り替えが必要。 ・事前に支援の方針や子どもへの声掛けの仕方を話し合って振り返る時間を持つようにする。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100	0	・保護者向けアンケートを調査を実施している。保護者からの意見を基に、職員間で共有し、改善策について話し合っている。 ・行事後はアンケート用紙を配布している。 ・職員会議等で話し合いを行っている。	・行事ごとに保護者にアンケートを行い、職員間で共有し、改善点について話し合いを行っている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	90	10		・今後も実施していく。 ・ホームページの存在を周知するようにしていく。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	30	70	・監査を受けている。	・今後も継続していく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100	0	・研修案内を職員に回覧している。 ・フォーラムの実施	・自らの研修参加を促していく。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100	0	・発達検査、知能検査を実施している。 ・保護者のニーズの聞き取りを行っている。 ・個人懇談・モニタリングを実施し、職員間で話し、作成している。	・個別指導の折に保護者からの主訴を確認していく。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	70	30	・発達検査・知能検査の実施 ・あづみ園独自のアセスメント評価をしている。	・新人職員に対しての連携不足による。職員間で情報提供を行う。 ・感覚面のアセスメントは、来年度から標準化されたものを使っていく。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	70	30	・発達支援をメイン ・家庭での相談を受け、園で出来る事を支援計画に取り入れるようにしている。	・子どもと家庭の様子を聞いたり見たりしながら、今後は必要に応じてガイドラインも参照していく。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100	0	・日々の記録を大切に、支援を振り返っている。	・担任だけでなく、職員間で相談する時間を設けて、確認しあっていく。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	70	30	・各クラスの担任が主で組んでいる。	・月案を用いて、担任で話し合い、進めるように取り組んでいる。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	80	20	・支援目標に応じた活動設定が出来るように努めている。 ・新しい遊びを調べたり、考えたりして、子どもの課題に合うようにしている。	・他のクラスの活動を共有していく。 ・朝礼時に活動の情報を共有することで、視野を広げていく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	90	10	・個別活動は専門職が取り組んでおり、集団活動は保育士が指導員が取り組んでいる。双方の視点から支援計画を作成している。	・個別と集団での組み合わせの部分をしっかり話し合って作成していく。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	60	40	・クラス担任が連携を取り、行っている。 ・朝礼でクラスの活動を周知している。	・打ち合わせが当日になったり、事前になってしまうことがあるので、週案を活用し、連携をとるようにしていく。 ・自分からリーダーに聞く姿勢を持つこと
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	40	60		・勤務の都合上難しいこともあるが、その日が難しいときは、後日行うようにする。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100	0	・毎日、個人記録を取るようしており、他の職員も見ることが出来る。	・記録時間を設けているので、記録がしっかりと書かれている。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100	0	・半年に1回行っている。 ・カンファレンスを行い、見直しをしている。	・課題点を話し合い、見直しを行っていくように、取り組んでいる。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100	0	・その子の担当者と園長が参加して行い、必要に応じて他の職員にも情報提供をしている。	・今後も継続して行っていく。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100	0	・随時対応している。	・窓口は園長になっているが、朝礼等で職員にも情報提供をし、意識付けをしていく。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	90	10	・カンファレンスや並行先に出向いたり、来園してもらい情報を共有している。	・今後は積極的に連携に行く。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	90	10	・カンファレンスで情報共有を行っている。 ・就学前は保幼小の連携に向かうようにしている。	・今後も継続していく。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	70	30	・職員研修の場を設けて行っている。 ・専門職会議を利用している。	・今後も継続していく。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	40	60	・地域の認定こども園の行事を観覧しに行った。	・地域の認定こども園の行事を観覧させてもらうことはあったが、子ども同士の交流は出来ていない。 ・今後は企画・提案していく。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	30	70	・法人として代表者が参加している。その後連携をしている。	・代表だけでなく他の職員も連携していく。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	90	10	個別指導や送迎時、連絡帳等で理解を求めように取り組んでいる。	・今後も継続していく。
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	30	70		・保護者自身にお子さんの課題等を理解し、受容が出来るように取り組むと同時に、保護者からの発信ができる体制を整えていく。	

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	80	20	・見学時や契約時等に行っている。	・現在は園長が行っているが、職員全員が出来るように取り組んでいく。
	㉑	児童発達支援が「トラウマ」の「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	90	10	・計画を作成し、保護者に説明責任を果たし、同意していただけたときは、押印してもらうようにしている。	・今後も継続していく。
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100	0	・適時行っている。	・保護者送迎の方は随時相談を受けているが、
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	30	70		・保護者会が設立していない。 ・クラスの参観や行事の時にコミュニケーションが取れるようになっていく。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100	0	・その都度、職員間で共有している。	・相談があったときは、必要に応じては来園してもらっている。また、電話や連絡帳にて対応しているので、継続して行っていく。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100	0	・園だより・クラスだよりを月1回は発行し、情報提供をしている。	・情報提供だけでなく、アドバイスのなことも記載していくようにする。
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意している	100	0	・個人情報は持ち帰らないようにしている。 ・USBの使用はしていない。 ・顔写真や名前がわかるものは慎重に取り扱っている。	・今後も慎重に扱っていくように、定期的に注意喚起を行っている。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100	0	・保護者学習会を行っている。	・今後も継続していく。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	40	60	・療育等支援事業を行っている。	・地域の方に来園していただき、読み聞かせやハンドベル演奏をしていただいているが、地域への貢献をしていない。
	非常時の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	80	20	・マニュアルを作成している。
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	70	30	・定期的に行っている。 ・年に1回は消防署のかたに来園していただき、アドバイスをもっている。	・保護者への情報提供が出来ていないので、行っていく。 ・主に火災を想定しての訓練になっているため、地震や土砂崩れの避難訓練も行っていく。
㉛		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100	0	・保護者からの聞き取りを行っていると同時に、朝礼や職員会議等で他の職員と情報を共有している。	・継続して取り組んでいく。
㉜		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	90	10	・医師からの指示書を提出してもらい、調理員と月に1度の給食会議で確認を行っている。	・今後も継続していく。
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	60	40	・事故報告書のみになっている。	・ヒヤリしたことは、職員間で共有するようにしているが、申し送り帳に記載しており、事例集の作成に至っていない。
	㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	90	10	・年に1度は職員研修を行っている。	・今後も継続していく。
	㉟	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	40	60	・現在、身体拘束をしなければならぬ利用児がいないため記載していない。	・今後は必要に応じて、保護者に説明して了解を求めている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成31年3月4日

事業所名 向島あづみ園

保護者等数(児童数)59名

割合 86 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	70	27	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭に車が入っている ・部屋によっては狭さを感じる ・プレイルームで走り回るには少し狭い空間ではないかと思う ・のびのび遊べている ・活動によっては大きな部屋を使用し活動している ・身体を使って運動をしたりするスペースもありよかった ・安全なスペースで活動している 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児送迎時乗り降りの安全確保の為駐車場に公用車を入れている。 ・上記について保護者には手紙で知らせている ・部屋の空間については机など片付けてスペースを確保していく
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	79	6	3	12	<ul style="list-style-type: none"> ・言語指導は2カ月に1回ではなく毎月してほしかった ・いつも十分な人数の職員がいた ・分からない点も答えていただいた 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導が必要な子には回数を行うことを検討中
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	76	3	6	15	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーとはいいいにくい ・完全なバリアフリーではないが生活空間はその子に応じたものを使用していた ・もう少し(案内表示)情報伝達してほしかった ・過ごしやすい空間だった ・イラストなどで分かりやすく工夫されていた 	<ul style="list-style-type: none"> ・案内表示を提示する場所を目に入りやすい所に変更
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	82	9	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな教室で子ども達も遊べていたと思う ・整理整頓出来ている ・床もきれいで清潔感がある ・参観日などで教室に入った時に子ども達に見やすい、伝わりやすいように心地よく過ごせる環境だと感じた 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き朝の掃除、放課後の掃除、整理整頓を継続していく
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	94	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスを基に作成されていた ・子どもと保護者のニーズに合った支援計画が作成されていた ・通所2年目に入り親自身も客観的に見られるようになってきて見返しても分かりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	82	6	0	12	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性などは良く設定されていたが、言語個別指導が少なかった ・月ごとに親としても分かりやすい活動内容だった ・必要な支援が選択されていた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを参照しながら作成していく ・個別指導の充実を検討中
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	94	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・適切にされていたと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく
	⑧ 活動の「わらわら」が固定化しないよう工夫されているか	91	0	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫されていると思う ・毎日工夫されている ・活動一つ一つ目的がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	42	24	6	27	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう機会がほとんどなかった ・小学校入学する前にもう少し交流する機会がたくさんあればいいと思う ・何をしているか分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場を設けられる地域の併行先を見つけ、活動の機会を検討中 ・入学予定学区内の保育所等との交流を検討中
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・バス代の変更について説明がされた ・全体について入園前に説明があった 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	94	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の子どもの様子を見てくれて何が良いのか、どこを伸ばすのか、どこを克服するべきなのかなど教えてくれて分かりやすかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく ・支援計画配布時、カンファレンスの際、説明していく
	⑫ 保護者に対して家族支援「わらわら」(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	70	15	6	9	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での接し方の参考になる話が送迎時や連絡帳でできている ・トレーニングなどよくできていたと思う ・勉強会が行われていた 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会、懇談会、ペアレントトレーニングなど保護者支援を行っていく

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	85	12	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・あつみ園での様子が今年度はほぼ分からなかった ・送迎時、個別指導の時に話し合いができています ・参観日など集団の中での様子を知らることができた ・よくできていたと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導前後にクラスを見学してもらい、共通理解を深めていく
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	85	12	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談にのってもらっている ・定期的に様子を教えてくれている ・勉強になることがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導、親子活動、送迎時などに行っていく ・会う機会の少ない保護者への対応として、電話連絡、連絡帳活用
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	58	18	15	9	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は学習会、懇談会が少なかったため連携があまりとれなかった ・時々しか参加されない方や初めて会う方などもう少し連携出来たらいいと思う ・保護者会の存在を知らなかった ・参観日で意見交換できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会活動は行っていない。 ・保護者同士が交流出来る機会の提供を増やしていく
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	91	3	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・よく相談にのってもらっている ・相談や申し入れたことなどきちんとお返事して頂いている ・非常に適切 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88	6	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・よく配慮してもらっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	79	3	3	15	<ul style="list-style-type: none"> ・発信されている ・お便りの内容は昨年度の方が濃いように感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、クラスだより、広報誌で発信している
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	88	6	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報守りすぎている 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについて十分注意する事は、これからも続けていく
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	61	15	3	21	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの訓練はあったが、保護者に対して知らせがなかった ・実際見学させて頂きたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めのオリエンテーション時、入園時に説明を行っていく
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	48	15	0	36	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練されているか知らない ・もっと分かりやすく理解出来るように子どもに行ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っていく ・保護者にも実施を知らせていく
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	82	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・併行先と活動が違い戸惑った事もある ・子ども本人から「行きたい」という言葉が聞けるので本当にうれしい ・毎日楽しみに通所している ・活動したことなど楽しそうに話してくれる ・子どもは楽しんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き子ども達が楽しみに通所し、園生活を送ることが出来る様に取り組んでいく
	㉓	事業所の支援に満足しているか	91	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対して良くなって欲しい部分は何も変わってないように思う。通わせる意味があったか疑問 ・とても満足している ・先生方にはよくしてもらっている ・非常に対応もよかった ・子どもの成長が見られて満足 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。